

(件名) ホテル前の不審物件事案に関する注意喚起

(内容) 【在セネガル日本国大使館からのお知らせ】

報道によれば、30日(水)夜、ダカール市内に所在する Immeuble Maginot ビル(ダカール市プラトー地区ホテル・カフェ・ド・ロームの近く)前に放置された不審物件(バッグ)が発見され、通報を受けた警察は付近一帯の避難措置を行った上、現場での爆破処理を実施しましたが、事後の捜査で当該不審物件は爆発物ではないことが判明しました。

本件は不特定多数者を狙った事件ではない模様ですが、人の多く集まる場所で不審な物件(※)を見つけた場合などは、

- ・興味本位から絶対に触らない、踏んだり、蹴飛ばしたりしない
- ・直ぐに現場から離れる
- ・その場所の管理者或いは当局に通報する

など、安全の確保を最優先してください。

※ 不審な物件

通勤・旅行鞆等の「忘れ物」であることが多いのですが、段ボール箱、包み紙等にも注意してください。過去にはクリスマス・ツリーを模した爆弾事件(1971年東京)も確認されています。

テロ等に使用される爆発物の起爆方式は概ね次のように分類されます。

- ・触発式：触ったり、動かしたりすると爆発する
- ・時限式：設定した時間が経過すると爆発する
- ・遠隔操作式：現場から離れた場所で無線等を使用して爆発させる

このため、爆発物の疑いがあるものには「絶対に触らず、安全な距離を確保する」ことが何よりも大切です。野次馬等を狙った時限式(または遠隔操作式)爆弾が付近に設置されていることも念頭においてください。被害防止のためには、不審物件が見つかった場所からは速やかに離れることが最も大切です。

万が一の場合に備え、海外旅行のテロ・誘拐対策パンフレットも併せて参照ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html>

本件問い合わせ先

taishikan.senegal@dk.mofa.go.jp

\*\*\*\*\*

在セネガル日本国大使館

Ambassade du Japon au Senegal

Boulevard Martin Luther King

(B. P. 3140) Dakar, SENEGAL

Tel+221-33-849-5500, Fax+221-33-849-5555

\*\*\*\*\*